
光に愛されし女神の娘

シュガー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

光に愛されし女神の娘

【Nコード】

N5048Q

【作者名】

シュガー

【あらすじ】

突然、異世界へ送られることになった麻莉亜。倒れていたところを辺境の村にある牧師に拾われることになった。おまけに鏡を見れば20歳であったのに10歳程度の子どもになっていて、顔の作りも髪や眼の色も何もかもが変化してしまっていた。この世界を守る女神の一人クラディアスと呼ばれたことは分かっているが、説明のないまま放りだされてしまったためと女神の理不尽さに対する怒りもあり、牧師の元でのんびりと暮すことに決めた。しかし、世間はそんなに甘くなかった。やがて麻莉亜は国や王族達に振り回される

ことになるのであった。

異世界へと導く光（前書き）

一作品目は今のところ暗い感じですので、明るい話も書きたいと思
い書いてみた物語です。

「光に愛されし女神の娘」の方もよろしくお願いします。

異世界へと導く光

気付いたら真っ白な空間に私はいた。

「ここ…どこ？」

大学から家に帰る途中だった筈なのに気付けば何もない真っ白な空間に座っていたのである。

しばらく夢だと思って、ぼうつとしていると空間に眩い光がさしこんだ。

そして光は私に囁きかける。

《そなたが御神麻莉亜みかみ まりあだな。そなたを呼んだのは、地球とは違う世界にあり国の守神であるクラディアスの意志によるものである。そなたは、これよりその地に降りクラディアスの娘として使命を全うせよ。我はクラディアスから遣わされた送り神じゃ。そなたをこれより転送するが、今までの女神の娘と違い、地球は遠く離れた世界であるため、クラディアスが見守るディアという世界に送るのに、そなたの身体に影響が出る可能性がある。まあ、命に関わることはないが、送った後で自分の姿を確認したまえ。それでは幸運を祈る。》

あたりが一面に輝き、私を包み込む。

意識が薄れていく中で麻莉亜の頭は混乱していた。

（勝手に話して勝手に人を知らん世界に送るな――。私が一体何をした――。）

麻莉亜の心の叫び声は、遠く離れたクラディアスにも伝わってきていた。

愛しい娘の叫び声に笑みを漏らす。

《可愛い私の愛しい娘。光がそなたを守るだろう。そなたに触れられぬことが辛いことよ。》

こうして麻莉亜の異世界での日々が幕を開けることとなった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5048q/>

光に愛されし女神の娘

2011年2月5日13時31分発行